多様性の視覚化と体系化

― 生物進化と文化進化をまたいで ―

噺役

三中 信宏

MINAKA Nobuhiro

国立研究開発法人 農研機構 農業環境変動研究センター
東京農業大学農学部生物資源開発学科

mail: leeswijzer@gmail.com
website: http://leeswijzer.org/
twitter: @leeswijzer

「生物生態・体系学特論 III」
2020 年 11 月 19 日（木）～ 20 日（金）
北海道大学大学院農学院（オンライン講義）

多様な事物を理解する手段としての「可視化」と「体系化」は，生物／非生物に関係なく，きわめて高い汎用性をもっている．生物学における「分類」と「系統」という根本問題はある科学分野において可視化と体系化をどのように適用し実行するのかという一般的なテーマに深く関わっている．本講義では，多様性を理解する上での可視化と体系化が果たす役割について論じる．系統推定や分類体系をめぐる生物進化学や文化進化学での論議は，個別科学の中だけではなく，その境界を越えた外に目を向けることにより，次の段階に進むための新たな視点が得られるだろう．